

ボランティアコーナー



「つくり隊」と「配食ボランティア」さん 前年を振り返り アンケートで反省会！

お楽しみ弁当の“つくり隊”と“配食ボランティア”の反省会は、昨年と同様にアンケート形式での反省会とさせていただきました。貴重なご意見をたくさん頂き、ありがとうございます。いただいたご意見は、これからの活動に生かしていきます。今年度もよろしくお願いします。



いただいたご意見(一部ご紹介)



配食ボランティア



夏休みに、配食ボランティアも体験する中学生

- ・弁当配食、何気なくやっているが、自分には合っている。これは、まだ先まで続けられると思う。
- ・初めの頃は、ただお弁当を配ってハンコついでくるだけでいいんだと思っていたけど、今は可否確認をした方がいいですね。
- ・まだ始めたばかりですが、少しでも活動に協力できたことに嬉しく思っています。

○声掛け、ふれあい・・・

- ・印を持ってきてくれる人の笑顔はたまいません。ガンバローと思います。
- ・「寒いのに大変ですね。いつもありがとうございます！ご苦労様。」など、玄関に顔を出す方は、必ずねぎらいの言葉を頂くので、大変うれしく思います。
- ・留守だった部屋にいて声掛けだけの時もありますが、月に1、2回の訪問でもふだん話さことのない村民の方と、顔を見ながら話すことはとても良いことだと思います。



お楽しみ弁当 つくり隊ボランティア



- ・月毎に王滝産の旬の野菜、山菜を使うので、作る方も「今日の食材は何かなあ〜？」と楽しみながら作りました。メニューの食材がそろっていて作り方の手順も書いてあり、とても作りやすかったです。
- ・いろいろなメニューで楽しみ。バランスが取れていて良い。
- ・利用している人たちの感想なども聞いてみたいです。



4月のお楽しみ弁当。彩りもきれいに仕上がりました。

- ・時々、人数が足りない時あり。応援をお願いします。
- ・今のところ、何とか出来ていますが、これから先は、メンバーも増やさないといけない気がします。

☆メンバー募集しています!!



広げよう！つなげよう！ 地域支え合い活動紹介⑥



王滝村では、社協でメニュー登録され活動しているボランティアさんはもちろん、地域のために自主的な支え合い活動を行っている方も大勢いらっしゃいます。地域のみなさんの活動の中から一部をご紹介します。

☆登録ボランティア

食の会 ～よらまい会でお弁当作り(4/14)

王滝食の会では、地域の食に関するイベントへの協力や、若い世代への郷土食の伝承活動を行っています。

今回は、ひとり暮らしのみなさんの交流事業にご協力いただきました。甘みそのおにぎりやじゃがいもコロッケなど、盛りだくさんのメニューを作っていただき、参加された方もとても喜んでくださいました。いつもご協力ありがとうございます。



ちょっといい話をご紹介します！



中学3年生の「ボランティア意義実感」という記事をご紹介します
(中日新聞 2022.3.23 より)

ボランティア活動に多くの方が参加しています。報酬がないのに、なぜするのでしょうか。アルバイトは労働時間によって評価され、報酬をもらいます。ボランティアは何をしたかで評価されるので、そのような環境に身を置けば、何か行動しなければという気持ちになり、その結果、成果を出した実感が味わえるのでしょうか。

中学1年生の時、ボランティア活動をして成果を出した実感を味わいました。祭りの後にゴミを拾う作業でした。もらったのはお茶1本です。割に合わないと思いましたが、きれいになった会場を見て満足しました。ボランティア活動に意義を感じられない人もいます。私は成果を出す実感を味わえるという意義があると思います。コロナ禍のため活動の場が少なくなっていますが、積極的に参加していきたいです。

ボランティア活動には、基本的に金銭による報酬はありませんが、この中学生のように「成果」を出して満足感を味わったり、感謝の言葉をもらってほっこりしたり、同じ活動をする仲間ができるなど、とらえ方ひとつで、お金には代えられない“報酬”をもらうことができるのではないのでしょうか。中学生の純粋な思いや姿勢に、改めてボランティア活動の意義を考えさせられました。